

ウミアイサ



私のとりとり



※この自由研究の鳥の写真は全て私が撮影しました。

ゴイサギ

鳥とのふれあい

2年生の時、鎌倉のふくろうカフェに行きました。その時に、「持っている幸せになれる」と言われているふくろうの羽根を買いました。



メソフクロウのサリーさん

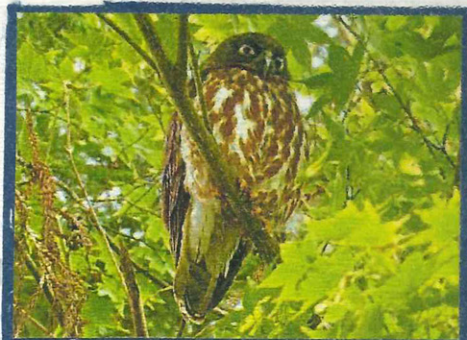
4年生でまた行った時に、2年前に会ったフクロウの顔を何処か覚えていて、父に「すごい」と褒められました。



シロフクロウのレスポールさん

↑
この子の羽根で作ったアクセサリーです。

鎌倉乃フクロウの森
掲載許可済



アオバズクの
北朝鮮切手



渡良瀬遊水地で撮影した
トラフズク



トラフズクの
中国切手



八王子の神社で撮影した
アオバズク

まず世界一の鳥たちを調べてみました

大きな鳥と小さな鳥

世界一大きな鳥はダチョウです。オスは275cmです。走る速度も時速70kmで世界一です。目が良くて視力20です。

世界一小さな鳥はマメハチドリです。5cmです。ホバリングしながら花のみつを吸います。キューバの固有種です。

鳥の全長とは、クチバシ先端から尾羽先端までの長さです。



ダチョウの切手

マメハチドリ

キューバ切手しかありません。

高く飛ぶ鳥と深く潜る鳥

アフリカのマダラハゲワシは、11,278mで飛行機にぶつかった記録があります。ライオンなどが残した肉を食べます。

南極のコウテイペンギンは、564mまで潜水した記録があります。オスが足の上で卵を温め続け、メスは往復2か月をかけてエサを採りに行きます。



マダラハゲワシの切手

コウテイペンギンの切手

速く飛ぶ鳥

ハヤブサの降下速度は、時速320kmで、ギネスブックに記録されています。主に小鳥を捕まえて食べます。



ハヤブサの切手



鳥は恐竜の生き残り

1億4500万年前に、翼やクチバシのある恐竜が出て、鳥の形になりました。昔は爬虫類から鳥に進化したと考えられていましたが、今では鳥は恐竜の1種とされています。6500万年前に、地球に隕石がぶつかって、鳥以外の恐竜は滅んでしまいました。



ドイツで発見された
始祖鳥の化石



クイズ

群れで大型を狩る小型恐竜と隕石

鳥はどの恐竜の仲間でしょう？



翼竜



装盾類



鳥脚類



獣脚類

恐鳥の時代

他の恐竜が減ると、6200万年前に大型に進化した肉食の鳥が現れました。この恐鳥は、哺乳類などをエサとし、地上の支配者となりましたが、やがて、環境の変化で減りました。



恐鳥フォルスラコス

鳥の羽毛

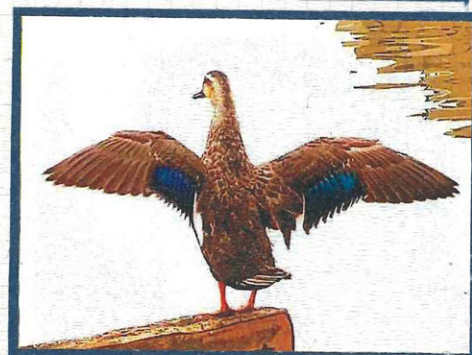
羽毛は鳥の特徴です。ウロコがいつ羽毛に進化したかはまだ不明ですが、獣脚類の時には既に羽毛がありました。羽毛には、飛ぶ機能、温める機能、衝撃から守る機能、飾る機能などがあります。



保温機能



飾る機能



カルガモの翼鏡(よくきょう)

構造色

色素ではなく細かな凹凸で青く見えます。角度を変えると黒～青～緑と変化します。



羽根の縁微鏡拡大
カザ状になっていて
なびくとくっきます



マガモの
次列風切羽根

小羽枝
(しょううし)

羽枝
(うし)

羽軸
(うじく)

しょうし
うし
うじく



カルガモの
次列風切羽根



野鳥の撮影

2024年から野鳥撮影を始めました。1月から6月までで100種撮影できました。野鳥をとおして多くの鳥友達ができました。



身近な鳥

身近に鳥はたくさんいます。公園に行くと、5種類くらいはすぐに見つかります。いつも見る鳥ですが、よく観察すると、細かい模様があって、とてもきれいで可愛いです。



巣作り中のスズメ



子育て中のツバメ



日光浴中のキジバト

カモフラージュする鳥

そこにいるけど、見つからない鳥もいます。ダシギなど、草むらに入ると全く探せません。



ダシギの切干

ここに2羽隠れています



有名な採鳥地めぐり

都会の緑地、鳥と花（新宿御苑）

オシドリというカラフルな水鳥の切手がたくさんありました。こんな鳥が本当にいるのか調べたら、なんと新宿にいました。御苑には都会とは思えないほど、多くの鳥がいました。他にも、フカクホンセイインコが桜をついばんでいる写真も撮れました。



コイル



楠円目打ち



オシドリ



水鳥の聖地（葛西臨海公園）

佐賀で撮影できなかったクロツラヘラサギを撮りたくて調べました。絶滅危惧種で、2024年の調査では世界で6988羽しかいなかったそうです。葛西には、立ち入り禁止の人口島に3羽来たところを上手く撮影できました。



鳥や野生動物の楽園（裏磐梯）

重要野鳥生息地のひとつです。キビタキを撮りたくて、GWに行きました。熊に要注意で、対策を学んで行きました。



キビタキ



鳥のこんいん色

春になると成体のサギは一部の色が変わります。異性にアピールするためです。



- ・目元が青緑になる。
- ・クチバシが黒くなる。
- ・目が黄色になる。

会津の河川敷で撮影したダイサギ
こんいん色で目元が青緑になっています。



葛西で撮影した
アオサギ
クチバシとアシ
がピンクになっ
ています。



ダイサギのこんいん色の切手シート

鳥と伝統色

伝統色切手に、鳥の色がたくさんあったので、本物と同じか探しに行きました。こがも色切手に、こがもではなくマガモのオス2羽が描かれているのは、間違いかな？と思いました。(マガモの緑は、伝統色ではかもの羽色・まがも色というからです。)



ウグイス



うぐいす色



こがも色



ひわ色



マヒワ



すずめ茶色



スズメ



鳥と人の生活の新しい関わり方

ハマシギとシチメンソウ

ムツゴロウやシオマネキが大量にいる有明海の干潟で、それらを食べに多くの鳥が集まってきました。

ラムサール条約

水鳥を食物連鎖の頂点とする湿地の生態系を守るための条約です。



シギの恩返し米（地域ブランド米）

水田魚道や冬水たんぼ、下水肥料、ダム底土の活用、IT農業などSDGs達成に貢献したお米です。海苔も260枚買ったので、毎日かにぎりが美味しいです。

ラムサール条約湿地 東よか干潟 Ramsar Site Higashiyoka-higata

平成27年5月、東よか干潟は国際的に重要な湿地として、ラムサール条約湿地に登録されました。ラムサール条約は、湿地の生態系の保全とウィズユース（賢明な利用）を促進することを目的に制定された国際条約です。



東よか干潟

日本一のシギ・チドリ類の飛来地



佐賀県佐賀市
東よか干潟



干潟と夕日

日本郵便 NIPPON 52



クロツラヘラサギ

日本郵便 NIPPON 52



シチメンソウ(秋)

日本郵便 NIPPON 52



ズクロカモメ

日本郵便 NIPPON 52



四つ手網

日本郵便 NIPPON 52



ムツゴロウ

日本郵便 NIPPON 82



ハマシギ

日本郵便 NIPPON 82



シチメンソウ(夏)

日本郵便 NIPPON 82



ツクシガモ

日本郵便 NIPPON 82



シオマネキ

日本郵便 NIPPON 82

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。



△印刷株式会社製



カササギ（カチガラス）の伝説

お正月、佐賀に遊びに行った時、カチガラスという珍しい鳥がいると知り、吉野ヶ里遺跡や有明海に探しに行きました。なかなか見つかりませんでしたが、3日目にやっと見つけて、写真を撮ることができました。

郵便はがき



カチカチ（勝ち）と鳴くので、戦国時代に朝鮮半島から連れてきたそうです。今は天然記念物として大切にされています。

七夕伝説のカササギ

7月7日に「天の川」にカササギが橋をかけて、織姫と彦星が会えるそうです。

当日夜、星見に行きました。ベガとアルタイルは無事に見えました。

彦星
アルタイル

天の川
銀河

織姫
ベガ



「虹の松原とカササギ」久野 実画

"Pine-lined, rainbow-graced shore and magpie" by Minoru HISANO



青い鳥を探そう

青い鳥はたくさんの種類がいます。あまり見かけないので、人気も高いです。私も美しい青い鳥が大好きです。

カワセミ



ルリビタキ



カワセミ

近所の川でよく海老や魚を採っていたので、私はカワセミが一番出会うことができました。撮った写真も一番多いです。

クチバシの上下とも黒いのがオスで、下だけ赤いのがメスです。



エサを狙っているカワセミのメス

イソヒヨドリ

オスだけが青くなります。海の崖地にいたのが、市街地に増えてきて、うちの隣のマンションにも棲んでいます。都市に引っ越してきた鳥を、都市鳥といいます。



崖の上のイソヒヨドリのオス

ルリビタキ

私の一番好きな鳥はルリビタキです。母の知り合いが鳥好きで一緒に連れて行ってもらった千葉の21世紀の森で、出会えました。同じくオスだけが青くなります。白眉毛がかっこいいです。



ルリビタキのオス



「鳥と切手の研究」のまとめ

Zoo Picker



ズーピッカー株式会社 掲載許可済

フォロー



↑ QR コードは
私のページへの
リンクです。

2024年から野鳥撮影を始めました。撮った鳥は、ZooPickerに記録しています。1月から6月までのライフアー数は100種、探鳥日数50日になりました。ライフアーとは、私が初めて確認した鳥の種類です。80種くらいから、速くに行かないと増えなくなってきました。今とても大変ですが宝探しみたいで楽しいです。



鳥は、毎日決まった時間の決まった場所に現れます。私は、他の人の記録を見て、現地で大きなカメラを持った人に教えてもらっています。良かったら、みなさんも鳥に興味を持って見てみてください！

鳥と切手

どんな鳥も、とても細かい独自の模様が入っていて可愛いです。鳥の切手を、ルーペでじっくり見ると、特徴的なポーズで、羽毛の生え方や、生息環境まで、正確に描かれていて、とても嬉しくなります。

今回の自由研究では、写真と切手を並べて配置しました。ぜひ、切手の中の鳥が、動く様子を想像してみてください。



参考文献

講談社の動く図鑑 MOVE 鳥 新訂版 2023年11月28日 新訂版 第1刷発行
BIRDER SPECIAL 羽根識別マニュアル 2020年11月16日 初版1刷発行

